

国立国語研究所学術情報リポジトリ

A method to write Chinese word in Chinese character and Kana in newspapers

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土屋, 信一, TSUCHIYA, Shin-ichi メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001034

新聞における漢語の まぜ書き表記について

土 屋 信 一

1. はじめに

昭和41年度から実施された電子計算機による新聞の語彙調査は、その主たる作業である語彙表の作成をもって、一応終結した。すなわち、国研報告48「電子計算機による新聞の語彙調査(IV)」(1973)がそれである。この新聞語彙調査に伴う用字および表記に関する研究は、遅れてスタートしたが、漢字に関する研究は、野村雅昭氏によって既に、国研資料集8「現代新聞の漢字調査(中間報告)」(1971)として、全体の三分の一のデータについてまとめられ、さらに、全体の集計、分析結果が、49年度にまとめられる予定である。また、仮名に関する研究は、さらに遅れたが、やっとここに最初の報告をすところまでこぎつけた。今回は、全体の機械処理システムの概略と、漢語のまぜ書き表記の分析について報告する。なお、まぜ書き表記については、すでに野村雅昭氏の手によって、全体の十分の一ほどのデータである朝日新聞朝刊前半に出現したまぜ書き語例がまとめられており、その簡単な紹介が「国立国語研究所年報」23(1972)45ページにあるので参照されたい。

2. 表記の集計・分析システム

仮名に関する研究の主たる目的は、語表記における仮名と漢字の関係を調べて、仮名の機能を明らかにすることである。それは、ひいては仮名との関係における漢字の位置づけを明らかにすることでもある。この研究を進めるためには、語彙調査において語彙表が作成されることがまず必要であり、続いて各語の表記の状態を示した語表記表または語表記一覧表と呼ぶべきものが作成され

なければならない。今回の新聞語彙調査の場合は、同表記語形を集めた段階までしか進行していき、同表記異語の分離と異表記同語の統合、いわゆる同語異語の判別作業はまだ行われていない。したがって語彙表は作成されていないが、それに代わるものとして、簡易五十音順長単位ファイルが作成されている。報告 48 に掲げた「簡易五十音順長単位表」は、その大部分(特殊文字・算用数字・記号で始まる長単位と、ミスデータと判定された長単位を除いてある)の表記形とその出現度数をとり出して配列したものである。表記の集計・分析にもこのファイルを利用するのが最適と考えた。ただし、この簡易五十音順長単位ファイルの最終のもの(長単位数 1,967,575)は調査時には利用できない状態にあったため、その前段階のファイル(長単位数 1,967,513)を使用した。この 62 長単位の差がどのような修正作業によって生じたものなのかは、ファイルの作成および修正システムの詳細が発表されていないので明らかではないが、表記の集計の結果にはほとんど影響がないものと思われる。

この長単位ファイルは、配列情報(20 けた)・出典情報(12 けた)・四種の層別情報(8 けた)の付いた長単位語を 1 レコードとして、配列情報を第 1 キー、長単位語を第 2 キーとしてソートしたものである。詳細については、報告 31「電子計算機による国語研究」(1968) 所収の、林 一郎氏「新聞語彙調査の概略と語彙分析法試案」・田中章夫氏「電子計算機によるワードリスト作成上の一問題」、および報告 34「電子計算機による国語研究 II」(1969) 所収の、斎藤秀紀氏「電子計算機による語彙調査—主として長単位処理について」を参照していただきたい。

この長単位ファイルを次のように処理した。以下の概略については、すでに「LDP」11 (19/3.3) にも発表した。

- (1) 漢字を含むデータのファイルと、漢字を含まず、仮名を含むデータのファイルを作成する。
- (2) 漢字を含まず、仮名だけを含むデータは、配列情報を取り去ったのち、新しい配列情報(10 けた)を付した。(図参照)これは、これまでの配列情報が

漢字テレタイプ10字(20けた)を使っていたのを改め、HITAC 3010のコード順に、0をア、1をイ、2をウというように五十音順のかなを当てはめたものである。

仮名書きファイルのレコード形式

	仮名配列情報 (10けた)	出典情報 (12けた)	層別情報 (8けた)	↑	長単位語	E/I	
--	------------------	----------------	---------------	---	------	-----	--

新層別情報(1けた)

注；長単位語は40けたから最高56けた。

こうすることによって配列情報は短くなった。なお、濁音は従来通り清音のコードを与えたが、長音符号は前の字の母音のコードを与え、おどり字は前の字の清音のコードを与え、長単位の先頭におどり字・長音符号があるものは、ミスデータとせず、最大コードを与えた。この結果、これまでの配列情報のように「かつて」と「かつて」が大きく離れることはなくなり、「ウンーと」は「ウンと」のあとに、「ドゥーと」はこれまで通り「ドット」の前に並ぶようになった。長単位の先頭におどり字のくるデータをミスデータとしなかったのは、実際に、この新聞データの中に「人も 馬も 道ゆきつかれ死に よけり云々」という釈道空の短歌があり、「よけり」が1長単位語として扱われているからである。また、先頭に句読点、かっこなどのある長単位も、明らかにミス・データではあるが、この段階ではミスという判定を下さず、仮名・漢字以外の部分に、機械コードの最大のものを与えるという扱いで、他の数字・記号が先頭にくる長単位と一緒に扱った。これだけ大量のデータになると、ミスを皆無にすることは至難のわざで、この種の単純明瞭なミスもかなり発生するが、重要な表記も含まれるので、アウトプットののち、修正作業をほどこすことにした。一例を挙げるなら、句読点のうしろに単位切り符号(本調査の場合はスペース記号)を入れ忘れたために、「また」とか「むろん」という長単位ができてしまったもの、「披瀝<ひれき>」が単位切り符号を入れてしまったため「披瀝」と「<ひれき>」になり、前者が読み仮名

なしのデータとなってしまうものなどである。

(3) 漢字を含むデータのファイルは、配列情報を取り去ったのみで、新たな配列情報は付けなかった。これまでの配列情報を付けておいたほうが、何かと便利なのだが、実は、ここで使った簡易五十音順長単位ファイルは、短単位に分割して短単位表記表を作成するシステムに使用するため配列情報を取り除いてあったものなので、やむをえなかった。このため、漢字を含むファイルは長単位のコード順に配列せざるをえなかった。

(4) これまでのG（文種区分）・T（話題分野区分）・S（情報源記載形式区分）・P（記事内位置区分）の四種の層別を簡略化して、これまでの層別情報（8けた）に加えて、新しい層別情報（1けた）を添えた。

- I. 政治・外交・国際……………Tが1・2・4・6
- II. 社会……………Tが5・8
- III. 経済……………Tが3
- IV. 文化・家底……………Tが7・10
- V. スポーツ・芸能・小説・漫画…Tが9・11, およびTが12でGが14・

17

- VI. 商業広告……………Tが12でGが15
 - VII. 案内広告……………Tが12でGが16
 - VIII. 表・その他（ミス）……………Pが6, およびTが12でGが13以下
- この層別は、すでに野村雅昭氏が「漢字かなまじり文の文字連続」（「電子計算機による国語研究IV」1972所収）において、IからVIまでの六層に分けられたものを踏襲したもので、私は、それに案内広告と表の二層を加えたに過ぎない。

(5) 以上のような配列情報・層別情報の修正をしたのち、漢字を含むデータのファイルと、仮名だけを含むデータのファイルのそれぞれについて、出力した。すなわち、長単位語形は漢字テレタイプで出力し、その機械コードおよび各層別ごとの集計結果、その長単位語の存在する出典を示す情報を、ライ

ンプリンタで出力した。それぞれ「長単位漢字書き語集計表」「長単位仮名書き語集計表」と名づけた。

(6) 以下は、(5) で作成した二種の集計表をもとに人手による作業（カード採集・配列・整表）によって分析をすすめていく。出典情報をもとに原文にまで戻る必要もかなり起るが、これには次の三つの方法がある。

○入力の際、漢字テレタイプで印字したデータをブロックごとに整理したものを利用する。

○サンプリングしたブロックの該当部分を新聞縮刷版から切り抜き台紙にはった「出典台帳カード」（国語研究所年報）22・23 参照）を利用する。

○入力原文を磁気テープにサンプリングブロック順に編集し、そこからパラメータで任意の長単位語（最大 10 語）を、文脈（前 20 字後 25 字の 45 字）付きで漢字テレタイプで打ち出し、分析する。この際、出典情報から計算した。データの日付け、ページ、ブロック番号を、1 ページ 10 語ごとにラインプリンタで印字して、それに漢テレ印字紙をはりつけた。図版は語形「行っ」が「おこなう」であるか、「ゆく」であるかを判別するため出力したものの一部である。これは一種の KWIC 方式であるが、各長単位語ごとに文脈と情報のついた索引ファイルを作成する方式は取らなかった。二百万語近い長単位語の文脈付き索引は磁気テープ 50 巻ほどにはなるので、実現は困難である。しかし、必要とする長単位語を原文の先頭から探していくこのやり方は、一回のランに二時間半程度を要し、さらに漢字テレタイプの出力時間が加わるので、非常に手間取り、これまでに「ある」「こと」「もの」など約二万語を打ち出したに過ぎない。やはり、文脈つきデータを配列して納めた磁気テープまたはディスクから取り出す方式が望ましい。なお、この印字システムに先立って、原文データのチェックと編集を行ったが、これについては、「LDP」10（1972、9）の拙稿「新聞データの整理について」を参照されたい。

A1 53420 10 カマツ 19 ニシ 5 PAGE 21 BLOCK	を つくつとらん 連中 が 東京 に 行っ て さわいどる 」 と にがにがしげだつ た
A1 57324 10 カマツ 27 ニシ 7 PAGE 25 BLOCK	厨門 を 節り ， 台所 へ はいっ て 行っ た ， # 一鬼 は ガス・コンロ の 上
A1 62307 11 カマツ 6 ニシ 13 PAGE 28 BLOCK	っ て ， 高遠城々身解 へ 出掛っ て 行っ た ， # 一鬼 は ひとり に なる と
A1 65926 11 カマツ 14 ニシ 6 PAGE 17 BLOCK	ンフレット ， ろらし などの 制作 を 行っ て います ， 堅実な 成長 を 望む 方
A1 69846 11 カマツ 22 ニシ 9 PAGE 7 BLOCK	草限星 が 次第に 詩心 に 目ざめて 行っ た 若き 日 を しのび ， 後 に ゆかり
A1 88230 12 カマツ 29 ニシ 14 PAGE 1 BLOCK	四台 が 暮れ の 町 へと 散っ て 行っ た ， # ボデー の 横腹 には 金文字
JO 02102 1 カマツ 5 ニシ 7 PAGE 3 BLOCK	二二) ら が 気づき ， 飛ん で 行っ て 山本君ら から 事情 を 聞い て いる
JO 02102 1 カマツ 5 ニシ 7 PAGE 3 BLOCK	， 犯人 二人 は 便所 から 出 て 行っ て しまっ た ， # B1
JO 02157 1 カマツ 5 ニシ 8 PAGE 28 BLOCK	注意 を 払い ， 厳しい 品質管理 を 行っ て きました ， # B1
JO 02437 1 カマツ 6 ニシ 2 PAGE 8 BLOCK	耐乏政策 に 反対し て セネスト を 行っ て いた 労働者 は 五日 朝 ラミザナ中

3. 漢語のませ書き表記とその分析

3.1 ませ書き表記一覧表の性格

上記のような集計システムを作成・実行したのち、48年度後半から、機械を離れ、手作業による集計と分析に取りかかった。そのうち、最初にまとめたものが、後ろに掲げる「漢語のませ書き表記一覧表」である。この表の性格については、一覧表の冒頭に述べたが、全体の数量に関する事がらについて、二三付け加える。

まず、ここではベータ単位におけるませ書きを取り上げたが、それより長い語について見れば、まだ「ませ書き」と言えるものがこのほかにも存することである。一応、△印を付して、参考として掲げたが、これで全てを網羅しているわけではない。しかし、私は、これ以上長い語における「ませ書き」は、仮名書きの問題の一つと考えるべきであろうと考え、除外した。仮名書きについ

ては、これに引き続いて分析を進め、報告する予定である。

つぎに、かっこを付して、仮名書き、漢字書きの度数を記入したが、この数は、完全ではないということである。すなわち、全体の語表記一覧表はもちろん、まだ仮名書き・漢字書きの表記一覧表も作成されていないため、仮名書きについては、主として「長単位仮名書き語集計表」から、漢字書きについては、漢字集計作業の「漢字表記語台帳」から「用語例台帳」に戻り、該当するペータ単位を含む長単位語の語形を確認したのち、「長単位漢字書き語集計表」から度数を求めるといった方法をとった。このため、仮名書きについては、長単位語の先頭にこない仮名書き表記、とくに、漢字を含む長単位語の先頭にこない表記については、見落しているものがあるろうし、漢字書きについては、漢字集計作業が、先に述べたⅠからⅥまでの層を対象としているため、案内広告および表のみに現れる長単位語には戻り得ず、したがって、その中に含まれる漢字書きペータ単位は脱落している。「長単位漢字書き語集計表」、および、国研報告48「電子計算機による新聞の語彙調査Ⅳ」所収の「簡易五十音順長単位表」によってできる限り補ったが、まだ不完全である。

最後に、案内広告欄の、映画・演劇関係のまぜ書きを、特殊なものとして、除外したことについて一言したい。例えば「網走番がい地北かいへん」・「国さい謀ほう局」・「渋谷公かいどう」・「特別公えん」の類である。これらがまぜ書きで表記されるのは、紙面の制約から小さな活字を使うため、読みにくさを避け、二字目以降の漢字を適宜仮名書きにする、という全く特別な原則が働いているためと思われる。

3.2 まぜ書きの総数

まぜ書き語は、新聞全体でどの程度あるのか、「まぜ書き表記一覧表」をもとにして計算してみた。(表1)

長単位約二百万語(短単位推定約三百万語)中、まぜ書きが、異なりで四百語弱、延べで二千語たらずというのは、決して大きな量ではない。そのなかには、「～箇月」「～箇所」「～箇国」などの「箇」の異体字を、字形の似た片仮名

表 1 まぜ書きの総数と内訳

	異 な り	延 べ	平仮名延べ	片仮名延べ
I 表外漢字	312	806	658	148
II 表内漢字で表内音訓	61 (54)	1108(107)	344 (93)	764 (14)
III 表内漢字で表外音訓	6	7	7	0
計	379(372)	1921(920)	1009(758)	912(162)

「ケ」で書き表わしていたものを「ケ・カ・か」で書いたものが、延べ語数の半数以上を占めている。これらは、ベータ単位では1単位とみなされるが、私は、数詞に「箇」の付いたものへ「月、所、国」などの造語要素が付いたものとするほうがよいのではないかと思う。また、「箇～」が一単位だとしても「ケ～」をまぜ書きと考えてよいかは疑問である。この場合の「ケ」は漢字の代用であり、音を表わすという仮名の機能は持っていないからである。「か～」や「カ～」は、一応、まぜ書きと認めることはできようが、従来用いられた。「ケ～」という表記から生じたもので、「箇～」から生じたものではないということは考慮されなければならない。

このような理由から、「箇～」の一部に仮名を用いた表記を除外してみると、まぜ書きの総数は、かっこ内に示した数になる。わずかに千語に満たないわけだが、それが目立ち、また、問題としても取り上げられるのは、特異な表記形式のためと思われる。

なお、「箇～」の表記は、新聞によって、表記がほぼ一定している。表2は「一箇月」の表記をまとめたものである。

表 2 「一箇月」の表記（新聞別）

	朝 日	毎 日	読 売	計
一カ月	52	70	1	123
一か月	—	1	41	42
一ヶ月	—	—	—	—
一箇月	1	—	—	1
	53	71	42	166

このうち、朝日の「一箇月」は表の中で、毎日の「一か月」は案内広告で、読売の「一か月」は商業広告で用いられたものである。

また、「箇～」の仮名表記について、層別に集計したものが、表3である。この語がI層（政治・外交・国際）、II層（社会）、VI層（案内広告）に多く使われており、「ヶ～」という表記は、VI層（商業広告）・VII層（案内広告）にだけ、わずかに現れることがわかる。

表3 「箇～」の仮名表記（層別）

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
カ～	196	172	31	60	46	94	134	2	735
か～	62	63	10	27	8	9	63	9	251
ヶ～	—	—	—	—	—	10	5	—	15
	258	235	41	87	54	113	202	11	1001

3.3 まぜ書きの要因

なぜ、まぜ書きにされるのか。根本になることは、漢字では書けないからということである。表1を見れば明らかなように、「箇～」の表記を除けば、まぜ書きの語の九割（延べ）は、当用漢字表にない漢字や、当用漢字表にはあるが当用漢字音訓表にない音訓を使用しなければ漢字で書き表すことのできない部分を、仮名で表記したものである。新聞は、当用漢字表と同音訓表（当時のもの）に、ほぼ従っているので漢字が使用できないわけである。

また、昭和29年に国語審議会から発表された「当用漢字補正資料」を新聞は採り入れているので、II群に属する表内漢字であっても、「タン〔丹〕毒1・たん念2・ひ免1・満エツ1」の4語は、漢字で書くことができない。

では、なぜ全体を仮名書きにしてしまわないのか。それは、「雑誌『太陽』の用字の変遷」（言語生活193・昭和42年10月）で述べたように、また、森岡健二氏編著「近代詩の成立—明治期語彙編—」の第十三章「明治・大正・昭和の漢字漢語の変遷」（杉山昌子氏44年度卒業論文の要約）で述べられているように、漢語は漢字で表記するという習慣が強いこと（『太陽』の場合は、調査対象とした部分の漢語はすべて漢字表記であった）によると思う。たとえ一部分で

も、制限内の漢字で書けるところは漢字で書く、という意識が働いているものと思う。まぜ書きの中には、「一きく〔掬〕・イン〔咽〕頭・水そう〔槽〕・ばい〔陪〕臣・ヒ〔髀〕肉」などのように、漢字を添えたものも見られる。これらは理解を助けるために漢字を添えたのであろうが、やはり全体を漢字で表記するという習慣の根強さも感じさせる。また、「玩具〔がんぐ〕・拐〔かい〕取」（いずれも朝日新聞社会面）・「弁護士稼〔か〕業」（毎日新聞学芸欄）のように、一度漢字で書いたものに、かっこで読みを添えるという手間のかかる方法で、漢字表記にした例があるが、これも、漢語は漢字で書くという意識の現れだと思う。

さらに言えることは、仮名として片仮名を使ったものが目立つことである。このような場合に、片仮名を使うという表記の規則の類は存在しないようである。当用漢字表の「使用上の注意事項」には、仮名書きにする場合がいくつか挙げられているが、平仮名・片仮名の別はない。外来語および外国の地名・人名は原則として片仮名で書くことに決められているが、「公用文の書き方—資料集—」（国語シリーズ 21 所収）には「かなは、ひらがなを用いることとする。かたかなは特別な場合に用いる。」とのみあり、片仮名の具体的な用法の記述はない。また手もとにある朝日新聞のハンドブック「新聞用語の手びき」（1973 年版）の片仮名の使い方では、かなり広く片仮名を用いる旨の記述があるが、まぜ書きの仮名部分については触れていない。最後の項目に「このほか前後の文章、慣用などを考えて適宜書き分ける。」とあるに過ぎない。

にもかかわらず、「胃ガン・救ライ・シャ幕・ダ液・鉄サク・ハク製」などの片仮名を使ったまぜ書きが、かなり見られる（医学関係の用語が特に目立つ）ということは、漢字と片仮名によって、漢字だけで漢語を表記した場合と同様の効果を上げようとする意図が働いていると考えられる。次の例は、俗語・隠語の類でもなく、3.4 に述べる仮名表記と関連のあるまぜ書きとも異なり、また、特殊な文体でもない、普通の文章に用いられたものである。

○防水力も完ペキになりました。（時計の広告）

〇つやを出すため塗ったケイ光染料がカンピョウに付着したものとみて……

(社会面の記事)

このように、片仮名によるませ書きは、ませ書き漢語が、平仮名文の中に埋没してしまうのを避けるという視覚的效果を上げている。

3.4 ませ書きと仮名書き

漢字制限が、ませ書き表記を発生させる主たる要因であることは、前節に述べたが、それだけでは説明のつかない事実もある。表1に示したように、当用漢字表内の漢字で、しかも音訓表内の音訓で表記することができる語を、ませ書きにした例が、「箇～」を除いて、延べ語数でませ書き表記全体の一割強を占める。この中には、小学生の書いた作文・詩に使われた「ぎょう列」・「地しん」のようにまだ習得していないものや、学校放送の番組名の中に出てくる「救きゅう車」(小2社会)「花だん」(小三理科)のように学年配当の制限を受けているものもあるが、それらを除いても、まだ次のようなませ書きの諸例が存在する。

A. 比較的難解な字を仮名で書いたもの

化せん・合せん・せん維(以上いずれも「織」部分を仮名書き)・圧はく(迫)・活やく(躍)・きん慎(謹)・さく酸(酢)・しょう酸(硝)・じょう着(蒸)・推せん(薦)・洗ざい(剂)・たい毒(胎)・とく名(匿名)・南ばん(蛮)・皮ふ(膚)・落たん(胆)

B. 副詞または名詞の副詞的用法や形式名詞の一部を仮名で書いたもの

一ばん(番)・いち目散(一)・いっ気(一)・一しょ(緒)・一そう(層)・一ばい(杯)・一ぺん(遍)・大ぜい(勢)・きょ年(去)・さい中(最)・実さい(際)・ずい分(随)・大てい(低)・大へん(変)・まい月(毎)・まい日(毎)・洋ふう(風)

C. その他

駅ベン(弁)・純スイ(粹)・ドン行(鈍)・値だん(段)・ふう刺(風)・ふん死(憤)

A は、むずかしそうな字を主観的に選んだが、はからずも、教育漢字外の当用漢字の部分を変名書きにしたものが集まった。これらは、おそらく書き手が難解と判断したか、当用漢字外と判断したか、あるいは漢字を思いつかなかったかのためであろうが、まぜ書き表記されたものである。なお、「とく名」は調査対象とした新聞ではまぜ書きだったが、その日の最終版をもとにした縮刷版の該当部分では「匿名」と漢字で書かれている。まぜ書きより漢字表記の方が適切と意識され書き改められたのだろう。

B は、前後の文脈を示せば、次のようなものである。

- 国会図書館を一ばん利用する、といわれるくらい学究ハダである。
- ハンドバッグを放り出していち目散。
- 脅迫が効を奏すれば一そう脅迫するのが当然である。
- 盛り場のように、人が大ぜい集まるところがいいように見えるんだろうね。
- きょ年 理想的な赤ちゃんのウェアとして 全国のお母さまから 多くの おほめの言葉をいただいた……。
- 時は太平洋戦争の前夜からそのまっさい中にかけてであった。
- いろいろのことを、ずい分覚えたかわいい“娘”だったが、……。
- これなら、まず大ていのビルの最上階にとどく。
- 我が家の井戸水は大へん水質が悪く、濾過しなければ一滴も利用できず、……。
- パパやママの疲労回復と体力増強にお子さまの丈夫で正しい発育にまい日 かかさずお飲みください。
- 季節の野菜を洋ふうに

これら B グループのまぜ書きは、その多くに同じ語の変名書きの用例があることからわかるように、語全体を変名書きにする傾向があり、その中間的な形態としてまぜ書きが生じたものと考えられる。どの範囲の漢語がどの程度変名書きあるいはまぜ書きで表記されているかは変名書き表記の集計の後に、分析を試みる予定である。

Cグループのまぜ書きは、A、B 両グループに属さない語例を一括したものである。まず、前後の文脈を示す。

- 座談会 駅ベンの知恵（旅行の雑誌の広告）
- 純度 98% 以上！ 純スイです。（歯磨の広告）
- 急行のすぐあとに出るガラあきのドン行を利用します。（投書）
- 値だんはいままでキョーマンしょうゆと同じです。（広告）
- 時代の古書は政治をふう刺したエッセイであって医学書ではない。（コラム）
- 多賀のまぜいバンドで三塁にふん死，……（高校野球の解説）

この中で、「ふう刺」は、漢字表記として「諷刺」を考えたためにまぜ書きで表記されたのかも知れない。他はすべて教育漢字外当用漢字であるから、Aグループに含めることも可能だが、決して難解な文字とは言えない。私は、これらCグループは、まぜ書きの仮名部分に、何らかの表現効果を期待したまぜ書きではないかと思う。すなわち、「駅ベン」・「ドン行」は俗語として取り扱われ、「ふん死」はやや大げさな表現として、「純スイ」「値だん」は、広告を目立たせる表現として、仮名が使われているのだと思う。このような仮名の用法は、II群のみならず、I、III群のまぜ書きにも見られることである。

- 同長官がメンバーに見当らずガク然。（毎日新聞「記者席」）
- 仕事はまったくきついけれど、ボクたち、たいへんな、いのちの洗タクをしていることに気づきましたね。（朝日新聞ルポ記事）
- 純粋オゾンが発生により空気中のバイ菌が死滅します（電子殺菌器の広告）
- 昔からお料理屋さんが、カツオ節やコンブのタレをあわせて、味をひきたてたのと同じ理クツ（化学調味料の広告）

とくに、片仮名を使ったまぜ書き（商業広告に目立つ）は、このような表現意図をもったまぜ書き表記と考えられる。Cグループのまぜ書きも、Bグループと同じく、仮名書き表記と関連させて考えなければならない。

このように、まぜ書き表記は、単に漢字制限の結果としてのみ把えることは

できず、仮名書き表記とも関連させて、その要因を考えなければならない。また、表現の一手段として仮名や漢字を使う傾向も見られるので、表現・文体との関連も考えなければならない。これらの点については、次の機会に報告したい。

〔付〕 漢語のませ書き表記一覧表

1. これは新聞語彙調査のデータに現れた、漢語のませ書き表記をまとめたものである。
2. ここにいう「ませ書き」とは、ベータ単位語の一部分が、片仮名または平仮名で表記されているものをさす。すなわち、大部分の漢語は、漢字2字で一単位をなすものであるから、前部分か後部分のいずれかが仮名で表記されているものということになる。
3. ただし、アルファ単位、および、それより長い単位がませ書きになっているものも、参考までに掲げ、△印を付した。

○3字漢語の二次結合によって、ませ書きとなっているもの。

例；人工/じん

○ベータ部分は仮名で、ませ書きではないが、他の部分が造語要素としての働きしかもたないもので、それと結合してませ書きとなっているもの。ただし、すべてを網羅してはいない。

例；電/じしゃく、赤/でんわ

しかし、他のベータ部分が独立した働きのあるものは除いた。以下はここで取り上げなかったものの一例である。(順不同)〔これらは、仮名表記として整理する予定である。〕

石油/コンロ・正馬/コウエン・交通/マヒ・機能/マヒ・マヒ/状態・
花札/トバク・回転/イス・貸し/ぞうきん・教育/ていど・肝臓/ガン・朝/ごはん・朝/げいこ・朝/ぼん・玉/のれん・減り/ぎみ・掛け/ぶとん・ブドウ/酒・モウチョウ/炎・ライ/調査・らい/患者・ハッピー/姿・どしゃ/降り・サギ/師・サツマ/芋・こんぶ/茶・らい/研究所・ごま/塩・国際/ガン/学会・釣り/テング・表/カンバン・ラクダ/色・一越/ちりめん・二番/せんじ・十二指腸/カイヨウ・えつらん/

室・ウドン/粉・あっせん/案・あいさつ/状・カンキツ/類・シシュウ/
糸・湯/たんぼ・湯/ドゥフ・精/いっばい・荒れ/ほうだい・豪華/け
んらん・豪放/らいらく。

4. ○漢語かどうかの判定は、主として「新潮国語辞典」によった。
○混種語も含めて掲げた。ただし、漢語要素の部分が仮名書きであるもの
に限った。
例；次のものは除く。……きっ料・地うた・雲上びと
○漢字をあてる習慣があっても、本来漢語でないものは除いた。
例；次のものは除く。……ラシャ服・天ぶら
○漢語であっても、現代中国音のものは除いた。
例；次のものは除く。……長崎タンメン
○人名・屋号の類には、漢語的なものがあるが、一切除いた。
例；次のものは除く。……デン助・とん八・ハチ公
○変体仮名を漢字で代用したものは除いた。
例；お笑い志ん幹線・志ん生
5. 漢字の添えてあるものも、仮名部分がまぜ書きのものは掲げた。
例；水そう〈槽〉
6. 案内広告欄の、映画・演劇関係のまぜ書きは、特殊なものなので、ここには
取り上げなかった。

<p>I. 当用漢字表外の漢字の部分が仮名 書きのもの。 注（ ）内はその他の表記例、 〈 〉は原文におけるかっこ、 または振り仮名を示す。</p>	<table border="0"> <tr><td>△和気あいあい</td><td>1</td><td>(和気藹藹</td><td>0)</td></tr> <tr><td>あい路</td><td>3</td><td>(隘路</td><td>0)</td></tr> <tr><td>空かん</td><td>1</td><td rowspan="2">} (空罐</td><td rowspan="2">0)</td></tr> <tr><td>空カン</td><td>1</td><td>} (あきビン</td><td>1)</td></tr> </table>	△和気あいあい	1	(和気藹藹	0)	あい路	3	(隘路	0)	空かん	1	} (空罐	0)	空カン	1	} (あきビン	1)	<table border="0"> <tr><td>あ然</td><td>1</td><td>(啞〈あ〉然</td><td>1)</td></tr> <tr><td>圧さく</td><td>1</td><td>(圧搾</td><td>1)</td></tr> <tr><td>暗きょ</td><td>1</td><td>(暗渠</td><td>2)</td></tr> <tr><td>あん馬</td><td>1</td><td>(鞍馬</td><td>0)</td></tr> <tr><td>胃ガン</td><td>8</td><td>(胃癌</td><td>1)</td></tr> <tr><td>育すう</td><td>1</td><td>(育雛</td><td>0)</td></tr> <tr><td>い縮</td><td>1</td><td rowspan="2">} (萎縮</td><td rowspan="2">1)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>} (萎〈い〉縮</td><td>1)</td></tr> <tr><td>△小いす</td><td>2</td><td rowspan="2">} (長椅子</td><td rowspan="2">1)</td></tr> <tr><td>△長いす</td><td>1</td><td>} (小椅子</td><td>0)</td></tr> </table>	あ然	1	(啞〈あ〉然	1)	圧さく	1	(圧搾	1)	暗きょ	1	(暗渠	2)	あん馬	1	(鞍馬	0)	胃ガン	8	(胃癌	1)	育すう	1	(育雛	0)	い縮	1	} (萎縮	1)			} (萎〈い〉縮	1)	△小いす	2	} (長椅子	1)	△長いす	1	} (小椅子	0)
△和気あいあい	1	(和気藹藹	0)																																																							
あい路	3	(隘路	0)																																																							
空かん	1	} (空罐	0)																																																							
空カン	1			} (あきビン	1)																																																					
あ然	1	(啞〈あ〉然	1)																																																							
圧さく	1	(圧搾	1)																																																							
暗きょ	1	(暗渠	2)																																																							
あん馬	1	(鞍馬	0)																																																							
胃ガン	8	(胃癌	1)																																																							
育すう	1	(育雛	0)																																																							
い縮	1	} (萎縮	1)																																																							
				} (萎〈い〉縮	1)																																																					
△小いす	2	} (長椅子	1)																																																							
△長いす	1			} (小椅子	0)																																																					

		椅子	22
		イス	1
		いす	11
一きく〈掬〉	1	(一掬)	0
イツ血	1	(溢血)	6
一しゅう	3	(一蹴)	1
一せい	1	(一斉)	40
		いっせい	23
△いっせい安	1	(一斉安)	0
一たん	2	(一旦)	0
		いったん	39
いん石	1	(陰石)	0
イン石	1		
イン〈咽〉頭	1	(咽頭)	1
う回	2	(迂回)	0
う蝕	1	(蝕蝕)	0
うっ血	1	(鬱血)	0
うつ病	1	(鬱病)	0
△生うどん	1	(饅饨)	0
		うどん	1
		うどん	3
う余曲折	1	(紆余〈うよ〉曲)	1
えい児	1	(嬰兒)	0
円すい	3	(円錐)	0
えん戦	1	(厭戦)	0
△えんび服	1	(燕尾)	0
△エンマ帖	1	(閻魔大王)	2
		えんま	1
横いっ〈溢〉	1	(横溢)	1
おう歌	1	(謳歌)	0
おう盛	2	(旺盛)	3
		旺盛〈おうせ	い〉
			1
黄だん	1	(黄疸)	0
大げさ	3	(大袈裟〈おおげ	さ〉)
			1
大ざっぱ	1	(大雑把)	0
		おおざっぱ	2

おく病	1	(臆病)	2
		憶病	1
		臆病〈おくびよ	う〉
			1
温キユウ	1	(温灸)	0
音さ	1	(音叉)	0
開きん	2	(開襟)	0
がい骨	1	(骸骨)	0
改ざん	1	(改竄)	0
改しゅん	1	(改倭)	0
がい旋	1	(凱旋)	1
外とう	1	(外袋)	2
		外袋〈がいと	う〉
			1
か業	1	(稼業)	2
		稼〈か〉業	3
ガク然	1	(愕然〈がくぜ	ん〉)
			1
角びん	1	(角瓶)	1
かく乱	3	(攪乱)	1
型ハク	1	(型箱)	0
かっ鼓	1	(羯鼓)	0
かっ色	2	(褐色)	0
かっ達	1	(闊達)	1
かっ歩	1	(闊歩)	0
△かっほう着	4	(割烹)	3
△旅行カバン	1	(鞆)	2
		カバン	1
		かばん	2
花びん	1	(花瓶)	1
		カビン	1
△〜カン		(数詞+カン)	2
		△石油カン	1
		△三寶カン	1
		△操縦カン	1
		△ガン化	3
		△子宮ガン	1
		がん強	3
		(頑強)	0
		(〜缶)	10
		かん	1
		(三寶柑)	0
		(操縦桿)	0
		ガン	64
		癌	12
		(頑強)	0

がん具	2	(玩具 10)
		(玩具<がんぐ> 2)
かん詰	1	(缶詰 11)
カン詰	4	(罐詰 2)
カン詰め	3	(カンヅメ 2)
		(カンづめ 2)
		(かんづめ 2)
干ばつ	1	(干魃 0)
干バツ	1	(かんばつ 1)
がん張る	3	(頑張る 4)
		(頑張<がんば> 3)
		(がんばる 14)
		(ガンバル 1)
△切りカンピョウ	1	(干瓢 0)
		(かんびょう 1)
		(カンピョウ 2)
完べき	9	(完璧 6)
完べき	1	(完璧<べき> 1)
		(かんべき 1)
かん木	1	(灌木 0)
がん迷	1	(頑迷 0)
△かんらん岩	2	(橄欖岩 0)
危ぐ	1	(危惧<きぐ> 1)
△上きげん	2	(機嫌 2)
△不きげん	1	(機嫌 1)
		(きげん 5)
		(御機嫌<げん> 1)
揮ごう	1	(揮毫 0)
帰すう	1	(帰趨 0)
キ足	1	(驥足 0)
キ<亀>頭	1	(龟头 0)
祈とらう	2	(祈禱 0)
△ぎまんの	1	(欺瞞 1)
		(～的 0)
		(ぎまん 1)
		(自己欺瞞<ぎまん> 1)

△きゅう師	1	(灸 0)
△強情キョウ	1	(きゅう 2)
		(灸師 0)
急きよ	3	(急遽 0)
きゅう砲	1	(臼砲 0)
救ライ	12	(救頼 0)
きょう客	1	(俠客 4)
恐かつ	29	(恐喝 0)
狭サク	1	(狭窄 0)
橋りょう	1	(橋梁 1)
きよ金	1	(醸金 0)
キョ出	1	(抛出 1)
△キラ星	1	(綺羅星 0)
キ裂	2	(亀裂 0)
△きんし卵	1	(錦糸 0)
きん少	1	(僅少 1)
金ばく	1	(金箔 0)
空てい	4	(空挺 1)
空どう	1	(空洞 3)
掘さく	1	(掘削 2)
		(掘鑿 0)
くん製	1	(燻製 0)
△ケイ動脈	2	(頸 0)
		(頸動脈 0)
形がい	1	(形骸 0)
敬けん	2	(敬虔 1)
		(敬虔<けいけん> 1)
けい古	1	(稽古 4)
		(稽<けい>古 1)
		(けいこ 49)
		(稽古<けいこ> 2)
△猛げいこ	1	(猛稽古 0)
けい光	2	(螢光 4)
ケイ光	1	(蛍光 3)
ケイ骨	1	(脛骨 0)
ケイ酸	1	(珪酸 0)
軽べつ	1	(軽蔑 2)
警ら	5	(警邏 0)
血コン	3	(血痕 0)

血せん	1	(血栓)	0)
△八十八けん	1	(88 鍵)	9)
けん引	2	(牽引)	0)
△大げんか	1	(大喧嘩)	1)
		(喧嘩)	9)
		(ケンカ)	10)
		(けんか)	8)
		(喧嘩<けんか>)	1)
研さん	2	(研鑽)	0)
けん銃	6	(拳銃)	7)
		(拳<けん>銃)	
けん制	8	(牽制)	0)
建べい	24	(建蔽)	3)
建べい	5		
堅ろう	1	(堅牢)	3)
△退避ごう	2	(壕)	0)
△防空ごう	1		
強かん	1	(強姦)	0)
豪しゃ	1	(豪奢)	0)
黄じん	1	(黄塵)	0)
△心筋こうそく	4	(心筋梗塞)	3)
△心筋コウソク	1	(心筋梗<こうそく>)	1)
コウ頭	4	(喉頭)	1)
荒とう無けい	1	(荒唐無稽)	0)
行のう	3	(行囊)	0)
こう配	2	(勾配)	2)
△急こうばい	3	(急勾配)	0)
甲ら	1	(甲羅)	0)
△花ござ	1	(萐蔴)	0)
		(ござ)	1)
△塩コショウ	1	(胡椒)	0)
		(コショウ)	6)
		(こしょう)	3)
黒かっ色	1	(黒樹色)	0)
骨とう	1	(骨董)	2)
混こう	1	(混淆)	0)
こん身	2	(渾身)	0)
こん睡	2	(昏睡)	0)

こん然	1	(渾然)	0)
こん虫	2	(昆虫)	10)
こん倒	1	(昏倒)	0)
混とん	1	(混沌)	2)
		(混沌<こんとん>)	1)
△塩コンブ	1	(昆布)	4)
		(コンブ)	6)
こん包	1	(梱包)	9)
こん棒	1	(棍棒)	0)
△さいの目	1	(賽)	0)
		(賽の目)	0)
さい配	1	(采配)	1)
さく泉	2	(鑿泉)	0)
左げん	1	(左舷)	0)
		(右舷)	1)
		(右舷<うげん>)	1)
ざ折	1	(挫折<ざせつ>)	2)
△ざせつ感	1	(挫折感)	1)
		(挫折<ざせつ>感)	1)
△音さた	1		
△表さた	1	(沙汰)	0)
暴力さた	2		
砂ばく	3	(砂漠)	19)
		(サバク)	2)
		(さばく)	8)
		(砂漠<さばく>)	1)
さん下	1	(傘下)	0)
残がい	2	(残骸)	0)
△サンゴ群	1	(珊瑚)	7)
△サンゴ礁	6	(珊瑚礁)	1)
さん孔	2	(鑽孔)	1)
山ろく	13	(山麓)	2)
死がい	1	(死骸)	0)
刺しゅう	9	(刺繡)	12)
		(ししゅう)	3)
		(シシユウ)	3)
△シシユウ糸	1	(刺繡糸)	0)

私じゅく	1	(私塾	1)
歯そう	1	(齒槽	1)
し体	1	(肢体	1)
		(肢体 くしたい)	
湿しん	1	(湿疹	4)
		シッシン	1
		(しっしん	1)
失そう	1	(失踪	2)
執よう	1	(執拗	2)
		しつように	1
		(執拗くしつよう)	
		な	1
し尿	4	(尿尿	0)
△シャクシ定規	1	(杓子定規	1)
		(シャクシ	1)
ジャロ	3	(蛇口	0)
しゃ断	11	(遮断	2)
シャ幕	1	(紗幕	0)
絨たん	1	(絨毯	2)
		絨緞	1
		じゅうたん	5
		(ジュウタン	4)
修ら場	1	(修羅	0)
△一じょう	1	(一帖	4)
焼い弾	2	(烧夷弾	0)
△紅しょうが	1	(生	0)
		しょうが	3
		(ショウガ	1)
しょう戒	2	(哨戒	0)
賞じゅつ	1	(賞恤	0)
上ぞく	2	(上族	0)
上ハク	1	(上膊	0)
招へい	1	(招聘	6)
しょう油	3	(醬油	12)
ショウ油	1	(しょうゆ	30)
		(ショウユ	1)

(注「醬油」は全部会社名)

△生じょうゆ	1	(生醬油	0)
浄るり	1	(浄瑠璃	4)
		(人形浄瑠璃	
		(くじょうるり)	1)
しょく台	1	(燭台	0)
△人工じん	1	(人工塵	0)
△流星じん	1	(流星塵	0)
△流星ジン	1	(流星塵	0)
震かん	1	(震撼	0)
じん臓	2	(腎臓	3)
ジン臓	6	(腎臓	3)
じん速	1	(迅速	11)
じん大	1	(甚大	0)
信びょう	2	(信憑性くしん	
		(びょうせい)	1)
親ぼく	3	(親睦	2)
辛らつ	2	(辛辣	0)
推こう	1	(推敲	0)
すい星	1	(彗星	1)
水そう	1	(水槽	3)
水そう<槽>	1	(水槽	3)
スイ臓	1	(脾臓	0)
ずい道	1	(隧道	0)
すう勢	2	(趨勢	1)
精かん	4	(精悍	0)
		セイカンな	1
		精悍くせい	1)
		か	1)
整とん	2	(整頓	1)
せき髓	1	(脊髓	0)
石けん	9	(石鹼	10)
		(せっけん	3)
接げん	1	(接舷	0)
△処方せん	2	(処方箋	0)
△セン抜き	1	(栓抜き	0)
△消火セン	1	(消火栓	9)
洗じょう	1	(洗滌	1)
		(洗淨	5)
△洗たく	40	(洗濯	36)

△洗タク	1	せんたく	3	炭じん	3	(炭塵	0)
		センタク	1	△洋ダンス	3		
先ぼう	1	(先鋒	0)	△和ダンス	1	{ 箏笛	1)
せん望	1	(滾望	0)	△和洋ダンス	2	{ タンス	5)
せん滅	2	(熾滅	0)	△各ダンス	1		
△貯油そう	1	(～槽	9)	たん白	1	{ 蛋白	6)
		貯油槽	0)	タン白	2	{ たんぱく	13)
△一そう	1	(～艘	2)			{ タンパク	6)
		(～艘<そう>	1)	田んぼ	6	(田圃	0)
△そううつ症	1	躁鬱症	0)			(たんぼ	2)
		躁鬱	0)	団らん	3	(団欒	0)
そう曲	1	(箏曲	10)			(だんらん	2)
装てい	1	(装幀	4)	△ち静脈	1	(痔	5)
		装丁	2)			(痔静脈	0)
		装釘	1)	△チエ遅れ	2	(智慧	0)
装てん	1	(装幀	0)			智慧	26)
そう白	1	(蒼白	0)			智慧遅れ	2)
そう話	1	(挿話	0)			チエ	6)
そ撃	3	(狙撃	2)	ち密な	1	(緻密	2)
		(狙<そ>撃	1)			(緻密<ちみつ>	1)
そ菜	4	(蔬菜	0)	茶わん	3	(茶碗	2)
ソ上	1	(遡上	1)	抽せん	45	(抽籤	0)
そ生	1	(蘇生	0)			抽選	32)
		人工蘇生<そせい>		駐とん	1	(駐屯	0)
		い>機	1)	ちょう報	3	(諜報	0)
		蘇生<そせい>				(諜<ちょう>報	
		し	1)			局	1)
側こう	1	(側溝	1)	沈うつ	2	(沈鬱	0)
		側溝<そうこ		てい談	1	(鼎談	0)
		う>	1)	でき愛	1	(溺愛	0)
対ガン	8	(対癌	0)	テキ面	1	(靨面	0)
△だいが味	1			鉄サク	1	(鉄柵	0)
△ダイゴ味	1	(醍醐味	1)			さく	1)
たい積	1	(堆積	0)			サク	2)
たい肥	1	(堆肥	0)	鉄つい	1	(鉄錠	0)
ダ液	2	(唾液	0)	△テング連	1	(天狗	4)
だ捕	1					天狗<ぐ>党	2)
ダ捕	1	(拿捕	0)			てんぐ	2)
△雪だるま	1	(達磨	0)	△両てんびん	1	(天秤	0)
弾こん	1	(弾痕	0)				

		(てんびん	1)
△診療とう	1	(～棟	5)
		(学園棟<とう>	1)
当せん	3	(当籤	0)
		(当選	65)
登はん	4	(登攀	0)
糖ミツ	1	(糖蜜	0)
どう猛	1	(凜猛	0)
灯ろう	1	(灯笼	0)
△石どうろう	1	(石灯笼	0)
どたん場	3}	(土壇場	0)
ドタン場	5}		
と畜	1	(屠畜	0)
トツ弁	1	(訥弁	0)
土のう	1	(土囊	0)
△とばく場	3	(賭博	0)
		(トバク	7)
		(とばく	3)
△白どんす	1	(緞子	0)
とん着	1	(頓着	0)
		(とんちゃく	1)
夏カン	4	(夏柑	0)
肉シュ	1	(肉腫	0)
肉まん	1	(肉饅	0)
ねん出	6	(捻出	0)
		(捻出<ねんしゅ	
		つ>する	1)
△のれん分け	1	(暖簾	0)
△のれん街	1	(暖簾<のれん>	1)
		(のれん	6)
ばい煙	15}	(煤煙	0)
バイ煙	7}		
肺ガン	10	(肺癌	1)
バイ菌	1	(微菌	0)
ばい〔陪〕臣	1	(陪臣	1)
排せつ	1	(排泄	0)
ばく進	1}	(幕進	0)
バク進	1}		
ハク製	1	(剝製	0)
ばく然	3	(漠然	1)

バク大	1	(莫大	0)
はく奪	4}	(剝奪	0)
ハク奪	1}		
破たん	3	(破綻	1)
		(破綻<はたん>	1)
△小ばち	1}	(ハチ	2)
△小バチ	1}		
△1はち	1}		
△百ハチ	1}		
△金魚バチ	1}	(鉢植え	0)
はち植え	2}		
ハチ植え	1}	(鉢巻	0)
はち巻	4}		
発ガン	6	(発癌	0)
抜てき	5	(抜擢	7)
		(ばってき	1)
発らつ	2	(発刺	0)
		(はつらつ	8)
馬鈴しょ	1	(馬鈴薯	0)
		(ばれいしょ	1)
ばん回	3	(挽回	0)
バン創コウ	1	(～膏	1)
		(絆創膏	0)
反ばく	1	(反駁	0)
はん布	4	(頒布	2)
		(はんぷ	1)
秘けつ	2	(秘訣	5)
		(秘決	1)
		(ヒケツ	1)
ひ護	1	(庇護	0)
		(庇護<ひご>	1)
飛しょう	1	(飛翔	0)
悲そう	1	(悲愴	1)
筆ちゅう	1	(筆誅	0)
ひっ迫	3	(逼迫	0)
ヒ<髀>肉	1	(髀肉	0)
火バチ	1	(火鉢	0)
△黒ヒョウ	1	(豹	0)
		(ヒョウ	2)
		(黒豹	0)

△ビョウ打ち	3	(鋌	1)
		(鋌打ち	0)
ヒョウ害	1	(雹害	0)
病とう	3	(病棟	2)
		(病棟<とう>	1)
肥よく	1	(肥沃	0)
△火炎ビン	7	(瓶	11)
△一ビン	3	(ビン	7)
		(びん	5)
△大ビン	3	(大瓶	5)
△中ビン	2	(中瓶	1)
△小ビン	1	(小瓶	2)
小ビン	1	(小甕	0)
小びん	1		
ひん死	1	(瀕死	2)
便せん	3	(便箋	0)
		(びんせん	4)
びん詰	1	(瓶詰	3)
ビン詰め	2	(ビンづめ	1)
ひん度	2	(頻度	0)
		(頻度<ひんど>	1)
ひん<頻>尿	1	(頻尿	0)
ひん馬	3	(牝馬	1)
ひん発	2	(頻発	1)
ひん繁	1	(頻繁	0)
		(ひんばん	3)
びん乱	1	(紊乱	1)
ふ育	1	(傅育	0)
ふ化	4	(孵化	1)
復しゅう	2	(復讐	16)
		(復讐<ふくしゅ	
		う>	1)
		(復讐<しゅう>	1)
		(ふくしゅう	2)
フッ化	1	(弗化	0)
フッ素	1	(弗素	0)
		(フッソ	4)
ふ頭	5	(埠頭	59)
フ頭	1		

(注) 漢字書きはすべて会社名

		(ブドー	1)
		(ブドウ	15)
		(ぶどう	2)
△座ぶとん	1	(布団	5)
△洋ぶとん	2	(布団<ふとん>	1)
座ブトン	1	(ふとん	10)
△フトン綿入	1	(フトン	2)
△ふろ屋	1	(風呂	38)
△フロ代	1	(ふろ	7)
△フロ場	3	(風呂<ふろ>	1)
△ふろ敷包	1	(風呂敷	1)
△ふろしき包み	3	(風呂敷包	2)
△ふんい気	10	(雾田気	9)
		(フンイキ	1)
		(ふんいぎ	21)
		(雾田気<ふんい	
		き>	1)
粉じん	5	(粉塵	0)
△板ベイ	1	(ヘイ	6)
		(へい	2)
平たん	2	(平坦	24)
へき地	4	(僻地	0)
ベツ甲	3	(髓甲	0)
べつ視	1	(蔑視	1)
片りん	1	(片鱗	0)
ほう助	3	(帮助	0)
ほう然	2	(芒然	0)
		(呆然	0)
		(芒然<ほうぜ	
		ん>	1)
		(呆然<ほうぜ	
		ん>	2)
法そう界	1	(法曹界	0)
ほう大	1	(彪大	1)
		(膨大	19)
△ほうれん草	1	(菠薐草	0)
△ハウレン草	2		
△ボク用	1	(僕	53)
		(ぼく	79)
		(ぼくたち	4)

		ボク	19	△五色めん	1	麵	0
		ボクたち	3	めん類	3	麵類	1
朴とつ	1	朴訥	0	△緋もうせん	1	(毛氈)	0
		朴訥<とつ>	1	網ら	2	(網羅)	2
発シン	1	(発疹)	1	元セン	1	(元栓)	0
ぼつ発	1	勃発	1	薬きょう	1	(薬莢)	0
		勃発 <ぼつば	1	憂うつ	1	(憂鬱)	2
		つ>	1			ユウウツに	1
補てん	6	(補填)	0			ユウウツ	1
ほ乳	1	(哺乳)	0			ゆううつな	1
まい進	1	(邁進)	1	誘かい	17	(誘拐)	2
まっ殺	2	(抹殺)	1	よう怪	1	(妖怪)	0
まっ消	1	(抹消)	1	△水ようかん	1	(羊羹)	3
△心臓マヒ	5	(心臓麻痺)	1			ようかん	5
		麻痺	3	要さい	1	(要塞)	2
		マヒ	3	腰ツイ	1	(腰椎)	0
△みかん～	4	(密柑)	1	抑うつ	1	(抑鬱)	0
△ミカン～	7	みかん	7	ライ病	1	(癩病)	0
		ミカン	18	落いん	1	(落胤)	1
		(注) みかん園1, みかん狩1, みかん市況1, 夏みかん1, ミカン園1, ミカン狩り1, ミカン畑1, 甘夏ミカン1, 夏ミカン2, ネオ夏ミカン1.		らち外	1	(埒外)	1
△みじん切り	7	(微塵)	0			埒<らち>	1
		みじん	4	△花らっきょう	1	(辣蕪)	0
△みそ汁	5	(味噌)	1	△ラッパ調	1	(喇八)	0
△ミン汁	2	味噌<そ>でんが	1	△ラッパ節	1	ラッパ	1
△酢ミン	1	く	1	ラツ腕	1	(辣腕)	0
		みそ	10	理くつ	1	(理窟)	0
		ミン	7	理クツ	1	(理屈)	7
△無ガイ車	1	(無蓋車)	0			りくつ	1
△白むく	1	(白無垢)	1	りゅう散弾	1	(榴散弾)	0
名ぎ<妓>	1	(名妓)	2	りゅう弾	1	(榴弾)	0
		名妓<ぎ>	1	領しゅう	1	(領袖)	0
めい福	6	(冥福)	0	△青リンゴ	2	(林檎)	1
		めいふく	1			りんご	7
明りょう	1	(明瞭)	0	りん酸	1	(磷酸)	0
		明瞭<りょう>	1	△色りんず	1	(綸子)	6
		明瞭<めいりょう>	1	△駒りんず	2	りんず	5
		う>に	1	れい明	1	(黎明)	1
				れぎ耕	1	(磔耕)	0

△赤れんが}	1	(煉瓦	2)
△赤レンガ}	4		
△レンゲ草	1	(蓮華草	0)
レン草	1	(稜草	0)
		(レンソウ	1)
△ろう学校	4		
△ろう教育	1	(嚮	0)
△盲, ろう, 養護学校	1	(嚮<ろう>学校	1)
	1		
△ロウ人形	1	(蠟	0)
		(ロウ	1)
△ろうあ者	1	(嚮啞	0)
ろう城	2	(籠城	1)
わい曲	1	(歪曲	0)
わい雑	1	(猥雑	0)
△わあせつ者	1	(ワイセツ	1)
		(わいせつ	1)
ワン曲	1	(彎曲	0)
		(湾曲	1)

II. 当用漢字表内の漢字の部分が仮名書きのもの

圧ばく	1	(圧迫	19)
一バン	1}	(一番	144)
一ばん	4}	(いちばん	80)
	(注)	副詞的用法のみ	
いち目散	1	(一目散	0)
いっ気	1	(一気	29)
一しょ	3	(一緒	40)
		(一諸	2)
		(いっしょ	122)
一そう	3	(一層	41)
		(いっそ	7)
		(いっそう	39)
一ばい	5	(一杯	5)
		(いっばい	146)
一べん(に)	5	(一遍	0)
		(いっぺん	9)
駅ベン	1	(駅弁	8)
大ぜい	7	(大勢	6)

		(多勢	6)
		(おおぜい	4)
～カ月	419		
～か月	153	(～箇月	1)
～ケ月	10		
～カ国	112		
～か国	34	(～箇国	0)
～ケ国	2		
～カ寺	1	(～箇寺	0)
～カ所	113	(～箇所	0)
～か所	44	(～個所	13)
～カ条	6	(～箇条	2)
～か条	1	(～個条	1)
～カ村	1	(～箇村	0)
～カ年	83		
～か年	19	(～箇年	0)
～ケ年	3		
△～カイリ	7	(～海里	2)
		(～哩	6)
化せん	2	(化繊	5)
花だん	1	(花壇	2)
活やく	1	(活躍	122)
△土地カン	1	(～鑑	1)
△キド類	1	(希土類	1)
救きゅう	1	(救急	21)
ぎょう列	1	(行列	14)
きょ年	1	(去年	54)
きん慎	1	(謹慎	3)
△～くん	5	(～君	176)
△～クン	5		
△～ケン	2	(～間	5)
		(将棋, 囲碁用語)	
△～コ	18	(～個	182)
△ご～	1358	(御～	81)
		(御祐筆 <ごゆう	
		ひつ>	1)
合せん	2	(合繊	21)
さい中	1	(最中	15)
△寸借サギ	1	(詐欺	45)
△サギ師	2	(サギ	3)

さく散	1	(酢酸	2)
△電じしゃく	1	(磁石	3)
地しん	3	(地震	141)
実さい	1	(実際	149)
		(じっさい	2)
△青じゃしん	1	(写真	808)
△体じゅう	1		
△日本じゅう	1		
△一日じゅう	1	(一日中	12)
純スイ	1	(純粹	21)
しょう酸	1	(硝酸	1)
じょう着	1	(蒸着	0)
しん底	1	(心底	0)
推せん	9	(推薦	84)
		(推選	2)
		(すいせん	6)
ずい分	1	(随分	1)
		(ずいぶん	21)
杉もく	1	(杉木	1)
△せい一杯	1	(精一杯	2)
		(精いっぱい	8)
		(せいいっぱい	3)
△せん切り	1	(千切り	0)
せん維	2	(繊維	124)
		(センイ	4)
洗ざい	1	(洗剤	17)
△ゾウ使い	1	(象	6)
		(ゾウ	2)
△大そうどう	1	(騒動	29)
△一触そくはつ	1	(一触即発	2)
体そう	2	(体操	202)
		(たいそう	4)
大てい	2	(大抵	4)
		(たいてい	15)
たい毒	3	(胎毒	0)
大へん	6	(大変	77)
		(たいへん	46)
断えん〈煙〉	1		
断しゅ〈酒〉	1		

タン〈丹〉毒	1		
たん念	2	(丹念	1)
		(たんねん	5)
△赤でんわ	1	(電話	906)
		(デンワ	3)
		(でんわ	3)
とく名	1	(匿名	27)
ドン行	2	(鈍行	0)
南ばん	1	(南蛮	6)
△日光よく	1	(日光浴	1)
値だん	1	(値段	102)
		(ネダン	6)
△一パイ	3	(～杯	69)
△一ぱい	4	(イッパイ	1)
		(いっぱい	2)
△一ぱい	1	(一杯	0)
		(船を数える単位)	
△一びき	1	(～匹	60)
		(五匹〈ごひき〉)	1)
皮ふ	1	(皮膚	17)
皮フ	7	(ヒフ	12)
△皮ふ病	3	(皮膚病	1)
ひ免	1	(罷免	0)
△～ふう	8	(「英国ふう」,「勞	
		(注)務者ふう」の類	
ふう刺	1	(風刺	9)
		(諷刺	2)
△言いぶん	4	(いいぶん	2)
△申しぶん	1		
ふん死	1	(憤死	0)
坊ず	1	(坊主	7)
△食べほうだい	1	(放題	1)
まい月	1	(毎月	120)
まい日	1	(毎日	488)
満エツ	1	(満悦	1)
△上モツ	1	(上物	0)
		(モツ	1)
△花ヤサイ	5	(花野菜	0)

		野菜	95
		やさい	2
△ヤバン人	1	(野蛮人)	2)
△言いよう	1	(～様)	2)
洋ふう	1	(洋風)	20)
△四十年らい	1	(～来)	41)
落たん	1	(落胆)	2)
輪じく	1	(輪軸)	0)

III. 当用漢字表内の漢字の部分が仮名書きだが、当用漢字音訓表外の音訓を用いなければ漢字表記のできないもの。

*印は改定音訓表には含まれる音訓

愛きょう	1	(愛敬)	1)
		(愛嬌)	1)
		(あいきょう)	1)
気っふ	1	(気風)	0)
△けが人	8)	(怪我人)	0)
△ケガ人	5)	(怪くけ)我人	1)
(注) 怪我 3, けが 46, ケガ 43			
こう弱	1	(耗弱)	2)
ザコ寝	1	(*雑魚寝)	0)

さらい年	1	(*再来年)	0)
△古じやり	1	(*古砂利)	0)
(注) 砂利 2, ジャリ 2, じやり 2			
△大そうじ	2	(*大掃除)	6)
(注) 掃除 47, 掃除くじ>1, そうじ 3			
△皮ぞうり	1	(*皮草履)	0)
(注) 草履 1, 草履くぞうり>1, ゴウリ			
	1		
そろ盤	2	(算盤)	0)
		(そろばん)	10)
		(ソロバン)	8)
△テントウ虫	1	(*天道虫)	0)
△長ニンジン	6	(長人参)	0)
(注) 人参 1, にんじん 6, ニンジン 27			
△大バクチ	1	(*大博打)	0)
(注) ばくち 5, バクチ 1			
バク徒	1	(*博徒)	4)
		(ばくと)	2)
△通せんぼ	1	(通せん坊)	0)
△子ぼんのう	1	(*子煩悩)	0)
(注) 煩悩 1			
△ワタン用	1	(私)	17)
		(わたし)	122)